

# みんなで支え合う 温かな絆で結ばれた 笑顔あふれるまちづくり

## 淀川区社協 3つの基本目標

- 1 地域の担い手の育成を推進します
- 2 人が集い、共に支え合いつながらる場の創出を推進します
- 3 地域で見守り・気にかけて合う関係を拡げる体制を推進します

生活環境の変化が顕著となり国が提唱する、「地域共生社会」と「新しい生活様式」が共存できる仕組みづくりには、人のつながりだけでなく、意識の変革や環境整備が必要と言えます。

「顔の見える関係づくり」と「ソーシャルディスタンス」の、相反する課題を踏まえつつ、従来の手法に縛られず、新たな事業のアプローチを図り、複雑・多様化した福祉ニーズを背景に、地域住民一人ひとりの支えあい・助け合いによる、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのために様々な取り組みを進めていく必要があります。

そのため、淀川区役所が2019年に改訂した「淀川区地域推進ビジョン」、「大阪市地域福祉活動推進計画」と協働した基本目標に基づいた理念や、今まで地域の方々と取り組んできた地域福祉の推進、「福祉のまちづくり」を今こそ、淀川区社会福祉協議会が地域福祉推進のネットワークの中核として、そのコーディネート力を発揮します。

今年度は、社会的孤立や子どもの貧困や外国籍の住民の増加による価値観の多様化（多文化共生）など、福祉課題が複雑化・深刻化しており、制度の狭間で支援に結びついていない人たちの存在が顕著となってきました。

淀川区社会福祉協議会は、地域のネットワークの中核としての事業運営にあたり地域福祉の推進と既存の事業の見直しと新たな事業の展開を図ります。



### 地域における支え合い・つながりの場づくり

～安心して過ごせる居場所づくり～

生活のしづらさを抱える方、障がいを抱える方や外国籍の方、すべての方々が地域で安心して過ごせる居場所づくりの推進を図るため「ゆっくりくるり」の開催をいたしました。居場所づくり（健康づくり、広報活動、サロンの推進など）を進める一方、支援を必要とする人が住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、住民主体の活動や福祉団体、NPO法人、社会福祉法人、企業など様々な団体の参加を得て進めています。

また、今年度は集まれなくても、つながることのできる方法を模索してきました。手紙やお届け物、自宅でできることを共有し、つながりが途切れることのない方法を検討しました。これまで積み重ねてきた活動への思いを再確認しながら、笑顔で集まることができるよう、さまざまなアイデアやチャレンジを共有して、つながりづくりを創っていきます。

### 地域の未来を担う世代の支援

～地域を担う人を拡げるきっかけづくり～

「災害ボランティアセンター運営ボランティア養成講座」「福祉教育ボランティア養成講座」等を開催し、活動に興味・関心を持つ人が参加しやすい情報発信ときっかけづくりや担い手として活動にふみだしやすいような入口と受け皿づくりに取り組みます。今年度も活動の担い手の育成と舞台づくりに取り組みます。

### 地域で見守り・気にかけて合う関係の構築

～地域における見守り活動の推進～

見守りネットワーク強化事業の認知度向上や3つの機能の充実を図るため、多職種との連携や「総合的な相談支援体制」への協力、地域における相談支援体制の充実に取り組み、早期発見・早期対応を目指します。

# 地域の支え合い 助け合いを進めます

令和3年度

## 大阪市淀川区社会福祉協議会 事業計画 概要版

(2021年4月1日～2022年3月)



やさしいまちで  
すてきな人と出会い  
自分らしく暮らせる人が  
ぎょうさんいる淀川区

2020年は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）に伴い、多くの社会・経済活動が停止し、高齢者等の孤立や長引く休校による子どもの心身への影響、減収や失業による生活困窮状態などの新たな課題が発生し、わたしたちの「ふだんの暮らし」が失われつつありました。

この状況であっても、つながりが途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけて支え合うには、どうすればいいのか。そういった視点から、地域で福祉活動・市民活動に関わる方々と社協職員である私たち専門職とが一緒に考え、地域での活動を共に進めていく必要があります。

これまでの課題の整理を行い、「大阪市地域福祉活動推進計画」と協働した基本目標に基づき「みんなで支え合う、温かな絆で結ばれた笑顔あふれるまちづくり」を目指し、医療・福祉の連携や福祉の質の向上が求められている変革の時代を見据え、誰もが自分らしさを大切にしながら安心して住み続けられる持続可能な地域社会を実現するため、地域や医療・福祉・介護や企業・NPO等の多様な分野と横断的総合的な支援策の展開を図ります。

# 令和3年度 大阪市淀川区社会福祉協議会 事業全体概要

豊かな協働で地域福祉を推進します

地域包括ケアを推進します

在宅生活を支援するサービス等

- 地域のふれあい活動等への支援
- NPO法人、企業の社会貢献との連携
- ボランティア活動の推進
- 広報・啓発活動
- 特殊詐欺被害防止対策
- 地域社会福祉協議会の活動支援
- 豊かな協働の企画実践
- 福祉教育の推進
- 青色防犯パトロール
- キャラバンメイト連絡会
- 子ども居場所ネットワーク
- 認知症カフェの開催
- ゆっくりくるりの開催等

- 淀川区地域包括支援センター
- ①総合相談支援事業
- ②包括的・継続的ケアマネジメント
- ③権利擁護事業
- ④介護予防ケアマネジメント
- 生活支援体制整備事業  
～生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を支援～

- あんしんさぽーと事業
- 地域密着型小規模通所介護事業  
(介護予防型・短時間型)
- 淀川区老人福祉センター
- 介護予防教室(なにわ元気塾)
- 生活困窮者自立支援事業
- 生活福祉資金
- 見守り相談室
- 車いす貸与等



## 3つの基本目標への取り組み

担い手

地域福祉の担い手の育成  
住民のつながり・支えあいの推進



災害ボランティアセンター  
運営ボランティア養成講座



居場所

人が集い、共に支え合い  
つながる場の創出を推進



運動教室で健康づくりと居場所づくり！

見守り

地域で見守り・気にか  
け合う関係を広げる体制を  
推進



地域での見守り活動！



おもちゃドクター養成講座



「ゆっくりくるり」の開催



集まれなくても、  
クリスマスカードを交換♪



地域で要援護者名簿の提供

## 5つの重点項目

- 地域社会福祉協議会の支援・援助
- 福祉教育の普及と協力を通じて  
児童への支援・援助
- 総合相談(なんでも相談)への  
支援・援助
- 災害への取り組みに対しての  
支援・援助
- 区民への発信(広報・啓発)を  
通じて福祉情報提供の支援

